

千四百年の歴史と自然、庄内の景観を壊す

出羽三山への風車建設に反対します

出羽三山の麓において、地元住民・市民に十分な説明と合意形成がないまま、風力発電計画（（仮称）山形県鶴岡市風力発電事業）が進んでおります。

自然エネルギーの活用は喫緊の課題でありますし、風力発電の利用も大いに検討されるべきことです。しかし専門家の話によると、建設計画場所は水源かん養保安林であり、地すべり地形も多い地域です。風車建設によってブナの豊かな森が伐採されるならば、地すべり・土砂崩れの発生や、下流域での土砂災害や水害等の発生が大いに懸念されます。風車の発する騒音・低周波音は住民の健康に害を及ぼさないのでしょうか。建設対象地や周辺に生息・生育する動植物への影響は無いのでしょうか。とても不安になります。

出羽三山は千四百年もの間、そして今もなお羽黒修験道を行う山伏たちが住み、日本遺産にも認定されている地域です。市民が心のよりどころとしてきた山岳信仰の聖地に大規模な風車群が本当に必要なのでしょうか。縦覧されている建設計画によれば地上高 180 メートルの大型風車が最大 40 基も立ち並ぶことになります。お山の景観は一変することになるでしょう。出羽三山の観光には死活問題になる可能性もあります。祈りの聖地、羽黒山、月山、湯殿山の麓に歴史と自然、景観を分断する風車群は似つかわしくありません。出羽三山の未来を守るため、風力発電計画の撤回と中止を求めます。

私たちは、豊かな自然と歴史ある美しい出羽三山を次世代に引き継ぎたい

《 ご賛同の方はご署名をお願い致します 》

「出羽三山の風車建設に反対する会」

【呼びかけ人代表】星野文紘（羽黒山伏）、粕谷典史（宿坊組合長）、星野博（羽黒町観光協会会長）、佐久間憲生（出羽三山の自然を守る会）、菊池俊一（山形大学農学部准教授）

【呼びかけ人】芳賀竹志（月山山頂小屋）、石井清則（羽黒山伏・鶴岡市議会議員）、土岐彰（出羽三山精進料理プロジェクト代表）、野堀嘉裕（山形大学名誉教授）、三浦秀一（東北芸術工科大学教授）、石原純一、佐々木俊司、板垣一紀、鈴木由利、竹村純二、加藤丈晴（羽黒山伏）、菅原典子（羽黒神子）、三浦友加（料理家・郷土研究家）

お名前	居住地（県名・市町村名のみ）

・署名は「鶴岡花子 山形県鶴岡市」のように住所を市町村名までの記載とし、個人情報保護に留意します。

・集約したデータは事務局で保存し、事業者、鶴岡市、庄内町、山形県、国の関係機関に届けます。第一次集約を **9月16日** とします。

【事務局窓口】山形県鶴岡市羽黒町観光協会（いでは文化記念会館内）電話 0235-62-4727、FAX0235-62-4729

E-mail: hagurokanko@bz04.plala.or.jp

2020年9月1日作成版

